

# 4 農家とJA

## 農家と農業協同組合（JA）とのつながり



JAではどんな仕事をしているのか調べてみよう。



### ① 「作物を育てる」手助けをするJAの仕事



農家の仕事に使うものを売る。



ひりょうや病気・がい虫をふせぐ薬を売る。



野さいのなえを育てる。



農業機械を売り、しゅうりもする。



農薬の正しい使い方を教える。



作物の育て方を教える。

### JAのおじさんの話

JAグループでは、生産者の一人ひとりが「どのような場所・方法で」「どんな農薬を使ったのか」を記録する運動に取り組んでいます。これによって安全がかくにんされたものをみなさんの元におとどけしています。





たくさんの係で農家の手助けをする。



## JAのおじさんの話

農家の人たちが力を合わせて、やりがいのある農業と、ゆたかな暮らしをきずいていくためにつくった団体が農業協同組合（JA）です。

JAでは、農家のくらしや仕事を手助けする仕事をしています。

作物を育てる世話、保かんや出荷の手助け、ゆたかな暮らしをするための手伝い（つだ）をしています。

## ② 「保かんや出荷」の手助けをするJAの仕事



米や麦の品しつをおとさないように保かんして、売る。



出荷された米を保かん倉庫で一時あずかって、売る。



米や麦の検査をする。



とれた野さいは、JAの集荷場へ集める。



青果市場では、集められた野さいやくだものをせりにかけて売る。



家畜市場では、農家が育てた家畜をせりにかけて売る。  
(JA全農やまぐち中央家畜市場)